

令和3年度 八郎潟町教育委員会の点検評価

4. 9. 7

八郎潟町教育委員会では、開かれた教育行政の実現に向けて、次のとおり、令和3年度教育委員会評価をまとめ、令和4年9月町議会議定例会へ提出します。

教育委員会評価の実施について

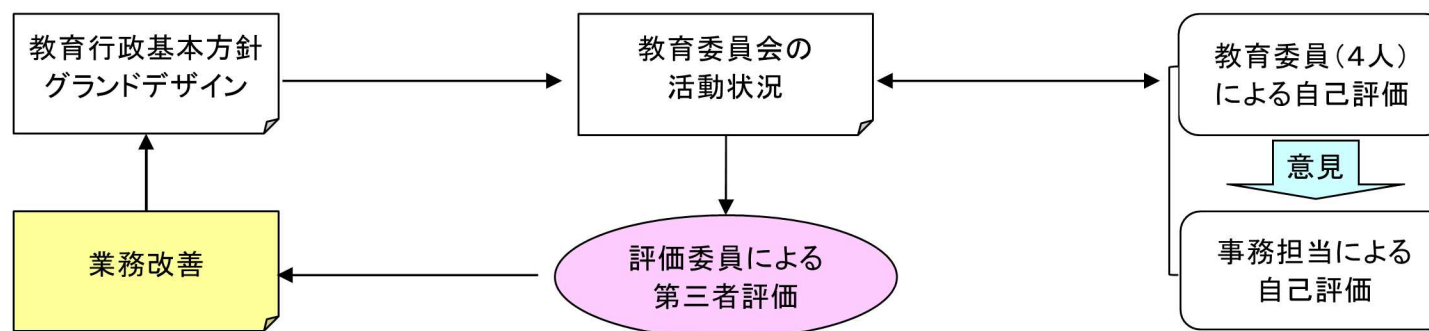
地方教育行政の組織及び運営に関する法律（平成20年4月施行）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

八郎潟町における評価の実施



評価計画

3月	（自己評価の集計，まとめ）【教育委員及び事務担当の自己評価は2月中に実施】 ※達成度の評価基準 A；よく達成できた B；達成できた C；達成できなかった
4月	第1回委員会（概要説明，評価方法の説明）
6月	第2回委員会（教育委員会活動及びグランドデザイン重点施策についての評価）
7月	第3回委員会（評価結果の確認）
9月	評価結果を9月議会へ提出
10月	評価結果の公表（ホームページで）

◆教育委員会

事業名	事業内容	教育委員自己評価（達成度は A B C の3段階）		第三者評価
		達成度	説明・考察・課題等	
総合教育会議	教育行政に係る重点的に講ずべき施策等に関する協議を行う	A	併設校はスムーズに運営されている。今年度から学校運営協議会が設置され、学校課題に対して地域からの支援が協力的に進められている。 また、スクールバス運用の見直しもうまく進められた。	スムーズな運用ができており、「地域とともにある学校づくり」を推進している。
教育委員会の年間活動計画	定例会を開催する（事務局との連携及び運営上の工夫等を含む）	A	事前に事案の提示や資料の配付があり、十分な話し合いができています。また、町広報誌により定例会の議案内容等についても町民に周知されている。	適切に進められている。町民への周知については、町広報誌のほかに、時代に合った周知の方法（登録制のSNSなど）も検討してほしい。
	教育行政の運営に関する一般方針を定める	A	教育委員会点検評価及び教育行政の変化に対応した指針づくりが行われている。	適切な運営がなされている。
	教育予算その他議会の議決を経るべき議案について意見を申し出る	B	意見や疑問、不明な点を十分協議し、納得できるものとなっている。	教育予算は、即応性が見込めないものも多々あると思うが、時勢に即した補正を柔軟に対応できないか。
	教育委員会規則の制定又は改廃を行う	B	現状に即した制定・改廃が行われている。	適切に進められている。
	各種委員会委員の任命及び委嘱を行う	A	専門的知識及び豊かな経験を備えた方々が、任命・委嘱されている。	適切に進められている。
	教育委員研修を行う	B	今年度もコロナ禍で十分な研修ができなかったが、学校の課題解決に向けた教育振興大会の内容は有意義であった。	教育の充実と子育て支援の一環として、継続してほしい。
	学校訪問等を行う（計画訪問、指導主事訪問、授業参観、部活動・スポーツ少年団訪問、施設訪問など）	B	コロナ禍で計画していたことができない事業もあったが、児童生徒の元気な活動と町芸術文化祭への出展作品などから、こども園や小・中学校の先生方の熱意ある指導を感じることができた。	コロナ禍に配慮しながらの対応は評価できる。

◆学校教育

1 確かな学力を育む
4 実践力を育てる

2 豊かな人間性を培う

3 健康の維持と体力の向上を図る

事業名	事業内容	事務担当自己評価（達成度は A B C の3段階）		第三者評価
		達成度	説明・考察・課題等	
八郎潟町学校評価システムの実践	学校教育の重点事項（知・徳・体に関する共通課題）について評価を行う	A	評価システムに町の学校教育の重点を盛り込み、子供の実態に応じた目標を学校で設定して、自己評価と学校関係者評価を次年度の学校運営に生かしている。	児童生徒の実態に応じた1年間の学校運営の評価が、次年度の学校運営に生かされている。
園・小・中の連携	こども園と小学校の交流会の実施と小学校と中学校の連携教育を推進する	B	こども園と小学校では、連携に関する会議や園児と児童の交流活動を実践した。 小学校と中学校では、乗り入れ授業や合同あいさつ運動等を実施し、併設校においての接続の在り方に関する研究を継続している。	こども園並びに学校間交流は、工夫を凝らして実践されている。今後も継続してほしい。
学校支援サポーターの配置 （中1名、小7名）	支援を要する子供の学習支援及び生活面をサポートする	A	支援を要する児童生徒への対応並びに教育の充実のため、会計年度任用職員を小学校に7名配置し、教育支援委員会の決定に沿うように進めている。	予算も含めてよくなされている。継続して実施してほしい。
英語科及び英語活動サポーター事業	小学校新学習指導要領に示された5・6年生英語科と3・4年生英語活動をサポートする	A	英語活動サポーター2名を配置し、担任教師とTT授業を実践しており、学習指導方法を工夫・改善することで、成果を上げている。	将来役に立つ英会話力を身に付けさせたいので、継続して実施してほしい。
英語指導助手	英語力向上のため、外国人を採用して英語学習を進める 地域の人材を活用し、子供たちと密着した学習活動を展開する	A	12年目となった英語指導助手は、非常に熱心に指導方法や教材を研究しており、職務に取り組む姿勢が大変優れている。 地域に溶け込んだ積極的な活動は、児童生徒並びに保護者とのコミュニケーションがよくとられている。	素晴らしい資質を備えている英語指導助手である。公私ともに八郎潟町が大好きな外国人登用は良策と言える。
メール配信事業	緊急時情報などを保護者の携帯電話やパソコンに速やかに連絡できるようにする	A	平成24年度から導入している本事業については、ほぼ全ての世帯が登録しており、緊急に学校から発信すべき情報などは、速やかに保護者に伝わっている。	よく定着が図られ、機能している。継続して実施してほしい。
学校給食費助成事業	町内に住所を有する児童生徒の保護者を対象に、教育の充実及び子育て支援を目的として、給食費を助成する	A	平成24年度から町内在住の児童生徒の保護者に対して助成を行っている。 学校給食費の全額を助成することで、保護者の経済的負担を軽減している。	教育の充実と子育て支援の一環として、継続してほしい。

スクールバス助成事業	遠距離通学のためにスクールバスを提供するとともに、教育の充実及び子育て支援を目的として通学バス利用に係る経費を助成する	A	平成27年度からバス定期の全額助成により保護者の経済的負担を軽減しており、今年度10月からは、マイタウンバスと町所有バスの両方を通学バスに利用し、小池地区内25区の児童についても通学バスの利用を開始している。 この変更に伴い、9月末日をもって中学生の通学バス利用及び定期券購入費の助成事業を終了する必要があったほか、通学方法等が変更となる児童の安全確保については、注意深く経過を観察し、継続して柔軟に対応する必要がある。	保護者への周知・理解を図って、年度途中の変更が、スムーズに実施された。児童の安全確保に留意して、事業の継続を図ってほしい。
4歳児健康相談	子供の成長過程を確認し、就学に向けて適切な対応を図ることを目的として、保健課及び福祉課と協力して健康相談を実施する	A	就学に向けて、町内の全園児とその保護者が交流できるよい機会となっている。 事業の趣旨に対する理解が浸透してきており、保護者には子育てに関する不安を軽減するための場として、参加していただくことができた。	子供の成長過程の確認と保護者の不安を緩和でき、必要な育児支援につながる貴重な機会になっている。
安全・安心フォーラム	安全・安心な町づくりを目指した取り組みを推進するとともに、通学路の安全に関する課題を検証する	C	新型コロナウイルス感染症のまん延状況に鑑み、事業を中止した。	やむを得ない対応と考える。安全・安心フォーラム事業については、見直しする方向性も考えてほしい。
小中学生のフッ化物洗口事業	子供たちの歯を虫歯から守り、健全な歯の育成のため、学校歯科医師の協力のもとに実施する	A	薬品を使用することから、事業の実施にあたっては、保護者から同意書をいただいて、週1回法によりフッ化物洗口を実施している。	虫歯予防と健全な歯の育成のためにも、事業を継続してほしい。
八郎潟町立学校長寿命化改良	学校の個別施設計画に基づき、長寿命化改良工事を行うための実施設計を行う	B	翌年度以降に国の補助金等を活用して工事を行うため、今年度は、調査及び設計業務委託を発注している。	次年度以降の事業に直結しているもので、引き続き注視していきたい。

◆社会教育

- 1 学習機会の充実 2 家庭教育の支援 3 芸術文化の振興 4 文化財の保護と継承
5 町立図書館の充実

事業名	事業内容	事務担当自己評価（達成度は A B C の3段階）		第三者評価
		達成度	説明・考察・課題等	
放課後子ども教室	放課後や長期休業中に小学校の教室等を活用し、地域の方々の参画を得て、児童に勉強やスポーツ活動の場を提供する	B	教員免許を有している指導員2名を配置し、5月～2月の期間放課後に学習会を提供するほか、夏季休業中には漢字・算数検定学習会を実施した。参加児童44名。 担当職員と指導員の連絡が不十分で、休止等の周知を怠り、保護者にご迷惑をかけた事案があった。今後は連絡調整と周知徹底を図っていくことに、気を引き締めて事業を進めていきたい。	保護者の就業中の時間に、子供たちだけになる懸念を払拭する貴重な事業である。特色ある取り組みが見られ、その成果に期待したい。
やすらぎ交流会	高齢者が生きがいをもち、仲間づくりと楽しい老後生活を送れるように、講演会、移動学習、交流会を開催する	B	5月～2月までの期間、学習会を月1回開催している。移動学習は、新型コロナウイルス感染症対策に鑑み中止とした。 今年度は会員数が3名増加し27名となった。会員が高齢のため退会者も多いが、新規会員の勧誘に努めていきたい。	高齢者世帯が増えていく昨今、必要な事業と考える。内容を工夫しながら、参加しやすい講座の開催を期待する。
観劇の集い	優れた舞台芸術に触れる機会を提供し、芸術を愛する心を育て、豊かな情操を養う	C	あきた芸術村「わらび座」の観劇は、新型コロナウイルス感染症対策のほか、公演内容が前年度と同様であることから中止とした。	やむを得ない判断と思われる。豊かな心を育てるためにも大切な機会となっているので、継続してほしい。
新聞活用セミナー	家庭での学習環境に、読み終えた新聞を効果的に活用し、読解力の向上を目指す	C	魁新報社の販売店事業主を講師に招き、夏季休業中に開催を予定していたが、魁新報社から、コロナ禍に伴い販売店からの講師派遣を自粛しているとのことで、昨年度に引き続き中止とした。	やむを得ない判断と思われるが、事業内容の再検討があってもよかったのではないかな。
成人式	大人になったことを自覚する機会を提供し、その前途を祝福する	A	8月15日（日）、県の警戒レベルが4に上がり、ほとんどの市町村が中止や延期となった中、実行委員と協議し可能な限りの新型コロナウイルス感染症対策を講じて開催できた。参加者は例年に比べて少なかったが、県外からの出席者はワクチン接種やPCR検査実施済みで参加するなど、成人としての責任と自覚が感じられた。対象者51名中27名参加。 また、新成人立会いの下でパラリンピック採火式を実施した。	若者の流出減少を図る上でも、できるだけ実施する方向で検討していくことは評価できる。
第38回 子ども会盆踊り大会	県指定無形民俗文化財「一日市盆踊り」への参加を促進し、後継者の育成を図る		新型コロナウイルス感染症対策に鑑み、一日市盆踊りが中止となったことから、昨年度に引き続き中止となった。	

秋田県青少年劇場	小・中学生向けの優れた舞台芸術の鑑賞機会を提供し、豊かな情操の涵養を図る 演劇・音楽公演からいずれかを選択して開催する	A	今年度は、小公演「はなしの伝統芸能『落語』」を開催した。当初改善センターを会場に予定していたが、コロナワクチン接種会場に指定されたため、急遽学校の体育館で実施した。 当初、小学生のみを鑑賞対象としていたが、県及び法人が会場変更を快く承諾してくださったので、全児童生徒が小公演を鑑賞することができた。来年度以降も継続できるように努めていきたい。	結果的に、全児童生徒が小公演を鑑賞し、有意義な体験ができたので、判断は適切であった。今後も継続して実施できることを期待したい。
趣味講座	個人の要望、社会の要請に応じた各種趣味講座を開催する	B	ヨガ教室（9月～1月 月2回計10回開催）参加者10名。 キャンドルランタン体験教室（9月23日）参加者9名。 町内外の多様な知識や技術を持っている方々に講師を依頼し、町民のニーズに応じた講座を開催するよう心掛けている。コロナ禍に伴い、参加者が少ないが、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら老若男女が参加できる講座の開催に努める。	引き続き、事業の趣旨に則り、工夫して取り組んでほしい。
歴史文化財探訪	町内外の歴史や文化に触れる機会を提供し、郷土を愛する態度や心を豊かにする	B	11月3日（水）公民館・図書館連携事業「町ぶらり講演会」を県生涯学習センターシニアコーディネーター北条常久氏を講師に招き、「創刊百年『種蒔く人』と八郎潟町に所縁のある人々」と題して講演会を開催。終了後、農民の父と母顕彰碑（上屋根）を視察した。 能代市「金勇」の視察を予定していた文化財探訪は、新型コロナウイルス感染症対策に鑑み、中止した。	外部講師を招いての連携事業の内容は、地域の歴史を知る貴重な機会となっている。単発で終わらせない仕組みづくりを期待したい。
芸術文化祭	芸術文化に触れる機会を提供し、町民の創造性の高揚と文化的風土づくりを進め、文化の振興を図る	B	新型コロナウイルス感染症対策に鑑み、昨年度に引き続き舞台発表を中止し、10月22日・23日に展示部門のみ開催した。また、衆議院議員総選挙に伴い、急遽会場が改善センターに変更になったが、芸文協からの協力があった会場設営と周知に努めたことにより、昨年度と同じように開催することができた。	状況の変化にもかかわらず対応できたことは評価できる。素晴らしい作品に少しでも触れる機会を増やすため、期間限定でSNSやホームページ等で閲覧できるようにすることも必要ではないか。
新春書初め会	健全な心身と生涯にわたり書を愛好する豊かな心情を養う	B	新型コロナウイルス感染症対策に鑑み、書道パフォーマンス及び餅つき等のイベントは中止し、1月5日（水）に書初め会のみ実施した。児童13名、一般5名の参加があった。 なお、書初め会の指導者として長年ご尽力いただいていた畠山勤氏が勇退したほか、町民の参加者が5名と年々減少していることから、次年度以降の開催の是非について検討したい。	書写や書道の魅力を知っていただく機会となっており、工夫した事業内容の展開で継続してほしい。
合同厄払還暦祝	人生の節目に当たる厄払・還暦を祝う	C	新型コロナウイルス感染症のまん延状況に鑑み、事業を中止した。	季節柄、閉鎖的な空間になるので致し方がないが、節目の歳に故郷で集えるきっかけにもなる。様々な対策をとりながら次年度以降は開催してほしい。

学校支援事業	小中学生に対して、学校・家庭・地域が一体となって地域ぐるみで子供を育てる体制を整備する	B	学校支援ボランティアとして、小学校は正課クラブ（ふるさと先生）、中学校は総合的な学習の時間に、地域住民が教員と一緒に、より専門的な知識を指導している。 学校支援ボランティアも高齢になりつつあり、徐々に勇退されている方もいるが、今年度から設置した地域学校協働活動推進員によるコーディネート活動が展開されており、今後も学校と地域のパイプ役として期待されている。	八郎湯の子供は遅く健康に育ってほしい。大人の持てる知見を少しでも伝授できるこの事業は、可能な限り続けてほしい。
図書貸出事業	新刊図書の購入、県立図書館との相互貸借事業と図書整理を行い、町民の読書意欲を促す	A	新刊図書購入による図書館の基盤づくりは順調に進んでおり、利用者数・貸出冊数も順調な伸びを示している。 図書館企画事業が定着してきており、図書館への理解も深まりつつある。また、学校支援として団体貸出事業や児童による選書体験、職場体験の受け入れ等も実施している。 図書館運営上の新たな課題も見えてきており、図書館協議会等の意見も積極的に取り入れながら改善に努めていきたい。	この規模の町で、このような図書館を運営していることは誇りである。図書館関係職員を最大限に生かす施策を今後も望む。
後継者育成事業	県指定無形民俗文化財「願人踊」「一日市盆踊り」と地域の伝統芸能「秋田音頭」の後継者育成を支援する	B	願人踊、一日市盆踊り、秋田音頭の保存団体である一日市郷土芸術研究会への運営費として補助金を交付している。保存団体は町の児童・生徒に民俗芸能を指導し伝承している。 児童生徒数が年々減少していく中で、伝統芸能を後世に継承していくことは厳しい現状であるが、保存団体が活動しやすい環境の整備に努めていきたい。	少子化の中で、伝統芸能の後継者育成は厳しい現状と思われるが、今後も保存団体と行政が連携して継続していくことを願っている。
文化財保存事業	町指定文化財「小池板碑群」等の管理と保存 NPO法人「浦城の歴史を伝える会」への業務委託	B	町指定文化財である小池板碑保護施設の管理を地域住民に依頼している。しかし、季節により保護施設を密閉したことから、保護施設内に移設した板碑にカビが発生してしまった。今後施設の改修等を含めた環境の改善が必要である。 浦城址登山口駐車場に設置している簡易トイレの管理を浦城の歴史を伝える会に依頼している。 地域史料館の維持管理は、地域史料館運営委員会と指定管理者制度に基づき委託契約している。 令和4年度の県ほ場整備工事に係る埋蔵文化財試掘調査を実施した。	文化財の保護、維持管理は大変なことと思われるが、これからも適正な管理と、町民への普及啓発に努めてほしい。
臼ヶ口V遺跡発掘調査	農地集積加速化基盤整備事業（高岡地区）に伴う埋蔵文化財発掘調査	B	令和2年度に調査した臼ヶ口V遺跡の発掘調査報告書を220部作成し、県内25市町村及び全国の埋蔵文化財関係の博物館等に送付できた。送付部数が予定より多くなり、在庫冊数が少なくなることから、変更契約により20部増刷している。 経費は、県からの交付金が92.5%となっている。	新しい文化財の発掘が、次世代への継承に向けた取り組みとなることを期待したい。

◆社会体育

- 1 町民総参加の各種大会・教室の開催
- 2 スポーツ団体の育成と指導者の養成
- 3 オリンピック記念会館を中心とした体育施設の開放
- 4 総合型地域スポーツクラブへの支援と普及

事業名	事業内容	事務担当自己評価（達成度は A B C の3段階）		第三者評価
		達成度	説明・考察・課題等	
町民体育館夜間開放	毎週土曜日に夜間開放し、町民に運動に親しむ場所を提供する	A	日常生活の中にスポーツ及びレクリエーションスポーツを普及させることを目標に、体育施設を開放する。 夜間開放を行うことで、運動する場を提供し、体を動かすきっかけづくりとなるように努めていく。	継続して実施してほしい。開放日の日数が増えればと願っている。
スポーツ少年団結団式	スポーツ少年団員と指導者が集い決意を新たに励み合う機会とする	A	4月に新団員を含んだ総勢106名の結団式を開催した。1年間仲間と共に励まし協力することを誓い、決意を新たにスタートしている。少子化による団員の減少傾向が懸念事項であり、各スポーツ少年団員数の確保策の検討を進めていく。	指導者・団員ともに決意を新たに臨む事業であり、継続してほしい。
チャレンジデー	全国一斉に、毎年5月の最終水曜日実施される住民参加型のイベントで、15分以上継続して運動した住民の参加率を競う内容となっている	B	新型コロナウイルス感染拡大状況から開催日を5月から10月に延期しての実施となった。また、今年度は他の自治体との対戦を行わないオープン参加型で実施した。 集計方法が携帯アプリのLINEのみに切り替わったことで、町広報誌等を利用した広報活動や町内会・スポーツ団体・町内企業への協力要請を行ったが報告者は64人だった。次回は、住民の参加率向上と運動の楽しさの啓蒙に努めていく。	コロナ禍で、個人参加型の開催と報告となったが、次回以降の工夫と改善につなげていってほしい。
B & G の運用 (6月15日～ 9月15日)	B & G 海洋センタープールを開館し、全町民に開放して水に親しむ機会を提供する	A	利用者が昨年の3,794名に対し、4,406名と増加に転じた。小・中学校の授業の受け入れについては、スムーズに行われている。今後は老朽化した箇所の修繕について、B & G財団の助成を利用するための申請の手続きを進める。地域の方々が利用しやすい環境を整えることに努めていきたい。	利用者が増加しており、安全に配慮した上で、計画的な補修と環境整備に取り組むことを期待したい。
水泳教室	小学生を対象に、指導者による教室を開催する	A	4日間（1日2コマ）の開催に、35名から申し込みがあり、延べ人数で151名の参加があった。水泳の技能や楽しさを体感でき、好評であった。	基本的な泳法を正しく学び、習得することは、将来に渡っての財産となるので、今後も継続してほしい。
ヨット・カヌー教室	小学生を対象に、指導者による教室を開催する	B	2日間でヨット教室を開催したところ、5名の児童が参加できた。事業の中で、海辺の安全教室としてライフジャケット体験を実施した。参加した児童は、実際に湖面に出てヨットを操縦するなど有意義な時間を過ごすことができた。 今後も参加者増に努めていきたい。	海辺の安全教室やヨット操縦など、有意義な体験活動となっているので今後も継続してほしい。

聖火ランナー	日本でのオリンピック開催にあたり、本町は聖火リレーの通過地となっている	A	6月9日（水）、防災センターをスタート地点に聖火リレーが開催された。本町は、隣接の市町村とは聖火をつながない特殊区間という位置づけで、約2,6kmの走行区間を13名のランナーが走り抜けた。当日は、体育協会役員、交通指導隊、交通安全協会等の協力を得ながら盛会に終えることができた。	歴史的な催しを実施されたことは意義深いものがある。オリンピックへの関心と期待感を町民にもたらししてくれた。
全町スポーツ大会	グラウンドゴルフ大会	C	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。	やむを得ないと思われる。
	ビーチバレーボール大会	B	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、できるだけ人の密集を避けての開催の対策として、女子の部を中止し、一般の部だけとした。6町内会が参加することとなり、感染症対策を講じながら開催できた。 スポーツ推進委員の協力のもとで、スムーズな大会運営ができた。	試行錯誤して、実施を試みたことは評価できる。
	家庭バレーボール大会	C	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。	やむを得ないと思われる。
	ラージボール卓球大会	B	前回の9町内会参加に対して、今回は6町内会の参加となり、感染症対策を講じながら開催した。 卓球協会やスポーツ推進委員の協力で、スムーズな大会運営ができた。	感染症対策を講じた開催は、適切である。
	ディスコン大会	C	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。	やむを得ないと思われる。
ふるさとあきたラン （全県市町村対抗駅伝大会）	県が全市町村に呼びかけて行われる大会である （今年度は仙北市において開催）		新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。	
スポーツフェスティバル	全町民が各種スポーツやレクリエーションスポーツに触れる機会を提供する	C	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。	やむを得ないと思われる。

表彰式 スポーツ講演会	一年間のスポーツ大会の成績に対し、功労賞、特別賞、栄光賞、奨励賞を与え表彰する	C	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。	講演会はできなかったが、選考して個別に表彰できたことはよかった。
かけ足運動表彰式	町民の体力向上を図る	B	上級300日以上12名、中級240日以上3名、初級180日以上3名で、被表彰者は昨年度より増となっている。参加人数に大きな変化はない。	適切に進められている。今後も継続してほしい。
総合型地域スポーツクラブの推進	3年度事業計画に基づいて活動する	B	総合型地域スポーツクラブにおいて、現在は体育協会と共催してスポーツフェスティバルなどの事業を進めている。1月に県の職員を講師に勉強会を開催した。 単位協会の既存活動に引き込むことやサークル活動・スポーツ教室などを事業として、幅広く周知を図っていきたい。	中学校部活動の地域移行などと関連させた事業の推進も考えられる。